

## 事務事業マネージメントシート

作成日 平成26年05月15日

## 1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移																																																
25年度実績 申請を受け、利用目的・家庭環境等を勘案して、支給量・支給期間・負担額を決定。受給者証を交付して利用者及び家族が事業所と契約してサービスを開始する。平成22年度から低所得者に対する利用負担額が無料となった。 平成25年度から「障害者自立支援法」が「障害者総合支援法」となった。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ア 事業申請者数</td><td>人</td><td>119</td><td>139</td><td>132</td><td>134</td><td>140</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>							名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	ア 事業申請者数	人	119	139	132	134	140	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)																																												
ア 事業申請者数	人	119	139	132	134	140																																												
イ																																																		
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
26年度計画 前年度同様。																																																		
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移																																																
身障・療育手帳所持者		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ア 身障手帳・療育手帳所持者</td><td>人</td><td>3,263</td><td>3,263</td><td>3,394</td><td>3,483</td><td>3,577</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>							名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	ア 身障手帳・療育手帳所持者	人	3,263	3,263	3,394	3,483	3,577	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)																																												
ア 身障手帳・療育手帳所持者	人	3,263	3,263	3,394	3,483	3,577																																												
イ																																																		
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 障がい児・者に日中活動の機会を提供することにより、保護者が安心して就労または休息ができるようにする。		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移																																																
障がい者の自立と社会参加の支援		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ア 事業利用者数</td><td>人</td><td>78</td><td>108</td><td>103</td><td>112</td><td>115</td></tr> <tr><td>イ 延べ利用日数</td><td>日</td><td>1,508</td><td>1,777</td><td>2,109</td><td>2,154</td><td>2,160</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>							名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	ア 事業利用者数	人	78	108	103	112	115	イ 延べ利用日数	日	1,508	1,777	2,109	2,154	2,160	ウ							エ							オ						
名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)																																												
ア 事業利用者数	人	78	108	103	112	115																																												
イ 延べ利用日数	日	1,508	1,777	2,109	2,154	2,160																																												
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 障がい者の自立と社会参加の支援		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ア 支援を受けて社会参加を始めた障がい児・者の割合</td><td>%</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>							名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	ア 支援を受けて社会参加を始めた障がい児・者の割合	%	100	100	100	100	100	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)																																												
ア 支援を受けて社会参加を始めた障がい児・者の割合	%	100	100	100	100	100																																												
イ																																																		
ウ																																																		
エ																																																		
オ																																																		
(2) 総事業費の推移		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)																																											
投入量	事業費	国庫支出金	千円	6,604	7,789	9,193	9,493	0																																										
		県支出金	千円	3,302	3,894	4,566	4,720	0																																										
		地方債	千円	0	0	0	0	0																																										
		その他	千円	0	0	0	0	0																																										
		一般財源	千円	3,303	3,896	4,567	4,719	0																																										
	事業費計（A）		千円	13,209	15,579	18,266	18,932	0																																										
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	0																																											
	延べ業務時間	時間	70	75	75	75	0																																											
人件費計（B）		千円	299	318	315	305	0																																											
トータルコスト(A)+(B)		千円	13,508	15,897	18,581	19,237	0																																											
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等																																																		
①この事務事業を開始したきっかけは何か？いつごろどんな経緯で開始されたのか？		障害者自立支援法の施行に伴い、平成18年10月から地域生活支援事業の任意事業として開始された。																																																
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？		近年、核家族化や共働き家庭の増加等社会情勢の変化により、利用者が増加傾向にある。 平成25年度から「障害者自立支援法」が「障害者総合支援法」となった。																																																
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？																																																		

## 2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 障がい児・者に日中活動の機会を提供することは、障がい者の自立と社会参加の支援に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 障害者総合支援法に定められているので妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 障害者総合支援法に定められた事業であるので適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 障害者総合支援法に基づく事業なので、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 障がい児・者の日中活動・訓練等に支障が生じる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の経費で行っているので、事業費の削減はできない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人員で対応しているので削減できない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 利用が必要な障がい児・者全員を対象としているので、公平・公正である。

## 3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し ( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？	(3) 改革・改善による期待成果  <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								

## 4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合  <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果  <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果  <table border="1"> <tr> <td>①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> <td>②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> <td>④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性  <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充</td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充	<input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善	<input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大	<input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充	<input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善																							
<input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大	<input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																							
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								